allcinema

キートンの警官騒動（1922）

COPS

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 20分
初公開日 1973/06
公開情報 フランス映画社

【解説】

稀代の奇術師フーディニの“愛は錠前屋をあざける”との格言がタイトルの後に続き、金持ちの令嬢を好きになったキートンは、彼女にピシャリとその家の門を閉められ、“立派な事業家になったら結婚してあげる”と言われ愕然とする。フラフラと町に出た彼は、タクシーを拾おうとする紳士の落とした財布を拾って、彼に返そうとするが何度か渡し損ねて中身だけ貰ってしまう。そして、その大金に目をつけた詐欺師が、引っ越しで今から運ばれようという家具を、持ち主のいない隙に彼に泣きついて無理矢理買わせる。そして、キートンは近くの吊しの洋服露地商の値札を、その前に停めてあった馬車の値段と勘違いして、わずか５ドルでそれを手に入れ、家具を満載して出発。手信号に噛みつく犬をボクシング・グローブで撃退し、横着してマジック・ハンドで合図していたら、交通整理の巡査を殴り倒していた。やがて、馬車は警官の大パレードに突入。折悪しく、その荷台の上で過激派の爆弾が炸裂したため、キートンは何百という警官に追われるハメになるのだが……。サイレント喜劇作家に共通してあった、警官への畏れと嘲笑をアナーキーに笑い飛ばす、短篇期のキートンの、どこか“わらしべ長者”を思わすような物語展開の快作だ。

【クレジット】

監督	バスター・キートン	Buster Keaton
出演	バスター・キートン	Buster Keaton
	ヴァージニア・フォックス	Virginia Fox
	ジョー・ロバーツ	Joe Roberts

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.